

# アタリ



元尊号 | No. 00003  
平成25年12月10日(火)  
発行 書肆べう  
ながしろぼんり

りゆうこう野ざらし。

**流** 行語大賞、面白うござん  
したね。「じえじえじえ」

「ぼ・い・が・え・し」おも  
てなしだ！「居間でしよ☆」  
とあっているんだかあつてい  
ないんだかうろ覚えな感じな  
のですが、四点、まあ聞いた  
ことはあります。納得です。  
が、実物(の映像)はあいにく  
「今でしょ！」しか観たこと  
がない。あれアCMだから野  
球中継の合間に挟まったりす

る。そうすると、観る。  
**あ**とはドラマだ、オリンピ  
ックの特番だ……で、ど

うなんだろう。TV  
を観る人間が減ってい  
る割には流行語はTVか  
らまだ生まれておる。がし  
かし、この四つ、リアルタイ  
ムで観られた、観ようと思っ  
た人間は日本人の人口の何%  
ぐらいなんだろうな。調べて  
なんの役に立つのかはよくわ  
からないけれども。  
**な** お弊社、ふなっしーを笑  
点でたい平師匠が真似し  
ているのんしか観たことがな  
い。ふなっしー本人がテレビ  
に写っている時にTVがつい  
ておらぬ。そうするとほれ、

ある特定の番組しか観ない人  
しかふなっしーの動く様子つ  
て見たことがなくて、そこか  
らネットのニュースかなんか  
で情報だけが拡散されるだけ  
みたい。くまモンも同様。

おなじみ空飛ぶモンティパイソンの足。  
調べてみたけど、この足の「元の絵」はついに発見できなかった。

アル中のガチホモアニメ。

**モ**ンティ・パイソンある嘘  
つきの物語〜グレアム・  
チャップマン自伝〜を見て来  
んした。映画ア「風立ちぬ」

以来。そんなに昔でもないな。  
モンティ・パイソン、なんだか  
来年の夏にある再結成ライブ  
が四十三秒で完売したってえ  
話である。エリック・アイド  
ル御年七十歳、ジョン・クリ  
ーズ御年七十四歳。

**咽** 頭がんで四十八歳の時に  
亡くなったグレアム・チ  
ャップマンの自伝を原作に出  
来たアニメーションで、二十

前後のアニメ会社がよつてた  
かって作り上げておる。モン  
ティ・パイソンの番組構成に  
通底する「意識の流れ」をベ  
ースにした作りというのは、  
たくさんのアニメ会社がよつ  
てたかって作るあたりによく  
マッチしていると思った。ケ  
ンブリッジの学生になり、医  
者の勉強をしながらコメディ  
ー・サークルのフットライツ  
で活躍し、女王陛下のお達し

## ハギキン石鹸



獨りて胸を痛めて



告 美代子 暖かくして即寝なさい  
急 どんどろ版 吉増茂兵衛

せせりい



あり郵券二銭封入申込  
類似薬に注意●兵庫縣  
せきすい病専門薬本家●  
元石第明次正レ筋不引  
木石第明次正レ筋不引  
角石第明次正レ筋不引  
町石第明次正レ筋不引

べう式「アタリ」は、  
書肆べうの発行する冗句と与太話のフ  
リーペーパーです。出来れば各自でPDF  
をダウンロードし、プリンターなどを駆  
使してお楽しみください。A4版です。  
御連絡はbanric@gmail.com (ながしろ) まで。  
Website : <http://sbew.web.fc2.com/atari/>

で(?) ニュージールランドで

公演したり。という間に自分は同性愛者なんじゃないかと思いい始めて、「自分が一緒に寝ても良い相手」の統計をとったりする。統計の結果、7対3でホモらしい、という結論に至る。「空飛ぶモンティ・パイソン」が終わって後のテレビショウでのカミングアウト、アルコール依存症、他諸々。

## と

パイソニアンのための映画です。そうでない人が入る

うもんならあーた、ただのアル中ガチホモの一代記アニメです。絵はおおむねポップでキッチユなぶん無駄に悪夢的だし。この、「見さんはおるか、十見さんくらのパイソンファンも置いていった感じ——「グレアム・チャップマンの」という但し書きがないと成立しない辺りが、もうなんというか、潔い映画であった。そもそもモンティ・パイソンなんか、ちゃんと笑いに對する「事情」とか「時代背景」があっってはじめてめっちゃ

くちや面白いというもんであってな。今の日本みたいに一観ただけで面白さが判るようなのは実にどうもこの、ベけんやですな。あっ、文楽師匠(先代)だ!

## 客

が莫迦になった、のかなか。「客の頭が悪くなった」から理解しえなくなった」と片付けるのは切れ味がよくて、何がしかの代弁をしているみたいで格好も気分もいいんですが、「単に共通の知識が無くなった」というのが正確な気がする。「これこれこういうことが常識ですよ」というのがおおむね無くなっちゃった。じゃあ「常識」ってなにサ、となると「関係する上で常に共有された」と都合が悪い「常識」となるのである。あゝあるの様式や知識を共有しなくとも生きていけるようになっちゃった。その一方「いろいろ」を識らない他人が莫迦に見える。かなんとか原稿を書いて往ってまわった。「クレラー

## 点

描、というと本件、非常にわかりやすかったのである。なんで点描という技法が生まれたかというところ、それは外の光をキャンバスの上にかに再現するか、ということに對する試行錯誤、血みどろの歴史なわけです。歴史画だの貴族の肖像画を描いていた画家たちが、外に広がる風景と陽の光をなんとか再現できないか、と考えた。で、補色の關係にある黄色／紫とか、橙／緑とかを点で配置することによって色が引き立つところまで開発したわけです。もっとズバツといえ、フラウン管やカラー写真が発明される前に、それに近いことを手動でやろうとしてたん。

## 明

る風景画が多いばっかりに非常に美術館通いが趣味みたいな奥様方にはウケのいい手合いのものではありませんが、自然光を紙面で再現すべく苦心した苦勞の遍歴、だと思つて観ると、アレ、興奮します。紙なのにキャンバスが輝いて見える。能書きを読むだけでもっと葉が効いてくるようなアレ、というと身もふたもないけどな。

## 王

四番を任せられた原辰徳が叩かれまくる! とか、そういうのは「常識」ではないものの。ただし、識つてると世界が幾重にも深くなる手合いの情報であることには違いない。単純に「綺麗なものが観たくて」でスーラ観るのめいと思います。が、正直心底「つまんねえよオーツ」と思つてる。何がつまんないって、大ヒットを飛ばさなければ金持ち気分を味わえないアート芸能界隈の状況が、である。昔からこんなだったけえ? そうだったかもしれないけど。

## 新刊のおしらせ

・来年、二〇一四年一月にや宇田川豪大第4戯曲集『耳柱』(多分)刊行されますが、前回『ばんびー』に引き続き「委ねへの戦慄」というタイトルで解説を書かせていただきました。今回は作品論的なことを長々書きましたので、今回はもつと(分量の都合もあって)ライトです。どっかで見かけたら手に取つてみてやつくください。  
V2ソリユーション刊。

## ウェブサイトできました

PDFファイルサーバに上げようとしたら「お宅のサーバ古すぎルンバ」と中の人に怒られたので、心機一転移転したので突貫で作り直しました。  
<http://sbew.web.fc2.com/atari/>

容量が続く限りバックナンバーは残しておきますので、ご利用でしたらお役立てください。



では、今回はここまで。